

科目名		開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
高齢者看護学実習Ⅱ（旧カリ）		4	前期	必	1単位	45h
担当教員名		メールアドレス		オフィスアワー		
堀之内 若名 楊 恵晴 加藤 寛章		wakana.horinouchi@tohto.ac.jp yang.huiching@tohto.ac.jp hiroaki.kato@tohto.ac.jp		学生からの申し出により適時		
授業の概要						
療養病床等で入院加療している高齢者に対して、疾患や疾患に伴う機能障害焦点をあて、本人の生き方を尊重した個別性のある援助について学ぶ。また、高齢者と介護者が生活の中で症状のコントロール、継続的なセルフケアができるように、諸理論を活用した看護実践について学ぶ。						
キーワード	到達目標					
高齢者看護・地域 包括ケア・医療施設・看護過程・高齢者の終末期	1. 老年期にある対象の全体像（身体的・心理的・社会的・発達状況）を理解する。 2. 老年期にある対象の健康上および生活上の困難を解決するための看護を実施する。 3. 対象のソーシャルサポートシステムについて理解する。 4. 高齢者ケアにおける保健・医療・福祉チームの役割と連携の必要性を理解し、 その中での看護職の役割、独自性を認識し、チームメンバーと協力しあう態度を身につける。 5. 自己の看護感、倫理観について洞察を深め、自己の課題を明確にする。					
学習内容						
【実習場所】 医療施設 【実習方法】 様々な疾病を持ち、療養病床での入院加療が必要な高齢者を対象に実習を行う。 利用者1名を受け持ち、臨地実習指導者やスタッフの指導を受けながら、看護問題を焦点化して介入を行い、療養病床におけるケアの実際について学ぶ。 詳細については、オリエンテーションにて伝達する。配布する高齢者看護学実習Ⅱ要項を参照すること。						
受講要件						
2年次後期までの必修科目の単位をすべて習得していること						
レポート	その他			合計		
80%（事前課題を含む）	20%			100%		
教員からのメッセージ						
超高齢社会において、倫理観を兼ね備えた高齢者ケアが求められています。医療を必要としながら最期まで自分らしく生活する高齢者へのかかわりを通して、地域在住高齢者のかかわりとの共通点や違いを考え、看護に求められる役割について学びましょう。						